# TEX Typesetting Circumstances for Japanese Publishing

YAMAMOTO Munehiro

# Layout

- I. The Answers of the Questionnaires
- 2. Some Issues of Japanese TEX Publishing
  - Fixed-Style and Glue-Style Line Spacing
  - Page Layout Designing
  - Development of Human Resources
- 3. My Hope

# Questionnaires about TEX publishing

- The details of your products
- The details of typesetting applications for your products
- Any comments on TeX in general

# Questionnaires about TEX publishing

sent out	answers
22	8
8	4
3	
33	13
	22 8 3

# Layout

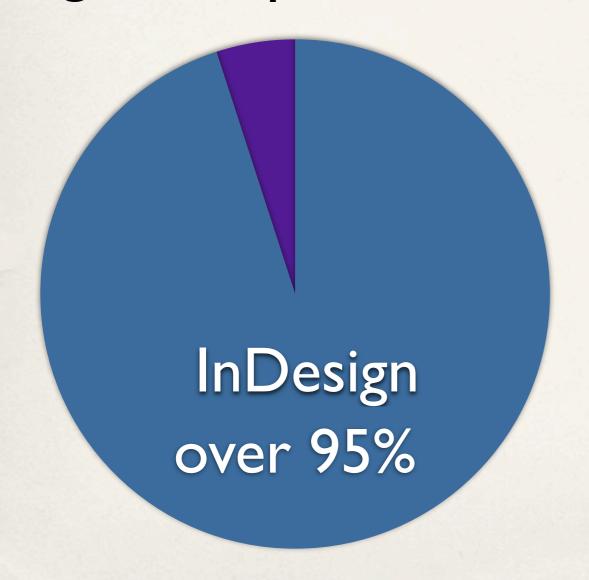
- I. The Answers of the Questionnaires
- 2. Some Issues of Japanese TEX Publishing
  - Fixed-Style and Glue-Style Line Spacing
  - Page Layout Designing
  - Development of Human Resources
- 3. My Hope

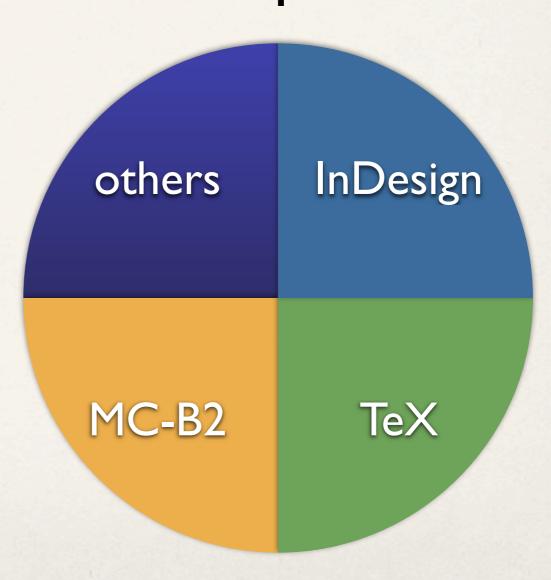
# The Answers of the Questionnaires

# Publishing companies

general publishers

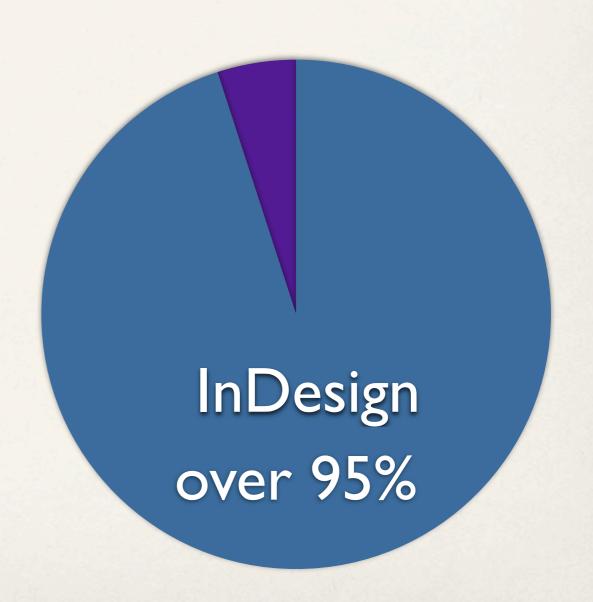
academic publishers





# Summary of General Publishers

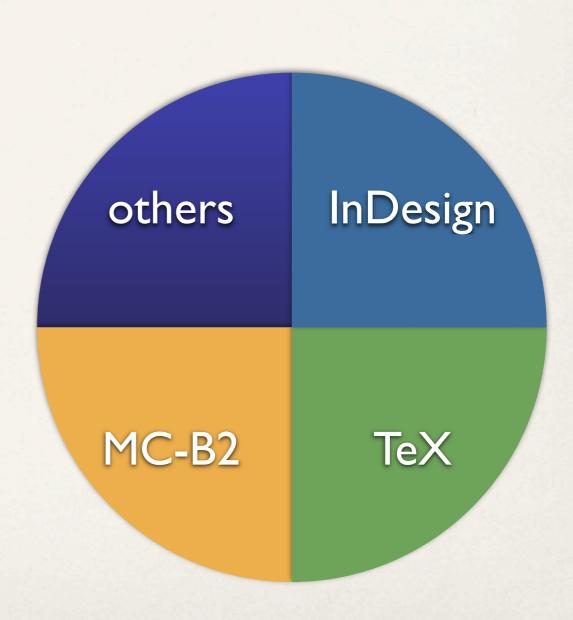
- \* They mainly publish books and magazines for general readers.
- They use Adobe InDesign for most of products.
- Some of them use LaTeX in limited ways
  - e.g., data-based dictionary



# Summary of Academic Publishers

- They mainly publish journals and scientific books
- They choose/use suitable typesetting applications

depending on the amount of mathematical objects



### General Publishers

- Iwanami Shoten
  - publishes some scientific books
  - typesets 20% of them using LaTeX.
- Pearson Kirihara K.K.
  - publishes some books on LaTeX and related topics
  - typesets almost of them using LaTeX.



### General Publishers

#### Iwanami Shoten

- publishes some scientific books
- typesets 20% of them using LaTeX.
- Pearson Kirihara K.K.
  - publishes some books on LaTeX and related topics
  - typesets almost of them using LaTeX.

第1章 基本的な概念

って実数を直線上の点で表現する。その方法は周知である。直線 XX' の上で,0 を表わす点 O は座標の原点で,また 1 が半直線 OX 上の点 E で表わされるとすれば,OE は長さの単位である。一般に x を表わす点 P は,x が正あるいは負なるに従って,半直線 OX あるいは OX' の上にあって,OP の長さがすなわち x の絶対値である。それを |x| と書く.このようにして実数 x, x' が点 P, P' で表わされるならば,|x-x'| は PP' の長さである。

絶対値に関する次の関係は、しばしば引用される。

$$|x| + |x'| \ge |x + x'| \ge |x| - |x'|$$
.

これも周知である。

二つの実数 x,y を一組として、それを (x,y) と書くならば、個々の組 (x,y) と平面上の個々の点 P との間に、座標法によって一対一の対応が成立する。そのとき (x,y) を点 P と略称する。通常は直交座標を用いる。

同じように、三つの実数の組(x, y, z)は空間の一点によって表わされる。

なお一般に、n 個の実数の一組  $(x_1, x_2, \cdots, x_n)$  を n 次元空間の一点といい、それを一つの文字 P で表わす。

今 
$$P = (x_1, x_2, \dots, x_n)$$
,  $P' = (x'_1, x'_2, \dots, x'_n)$  なるとき  

$$\sqrt{(x_1 - x'_1)^2 + (x_2 - x'_2)^2 + \dots + (x_n - x'_n)^2}$$

なる数を P,P' の距離と略称して、それを PP' と書く、然らば '三角関係'  $PP'+P'P'' \ge PP''$  が成り立つ。もしも P を固定すれば

$$PP^2 = (x_1 - x_1')^2 + (x_2 - x_2')^2 + \dots + (x_n - x_n')^2 < \delta^2$$

なる点P'は、Pを中心とする半径 $\delta$ なる 'n次元の球'の内部にあるという。もしまた

$$|x_1 - x_1'| < \delta$$
,  $|x_2 - x_2'| < \delta$ , ...,  $|x_n - x_n'| < \delta$ ,

いい換えれば

$$\operatorname{Max}(|x_1-x_1'|,\cdots,|x_n-x_n'|)<\delta$$

ならば\*, P'は P を中心として稜が座標軸に平行で、その長さが  $2\delta$  なる 'n 次元の立方体' の内部にあるという。

我々は言語の短縮を欲するために、上記のような幾何学的の表現法を用いるのであるから、文字に拘泥 して、n次元空間に関して奇怪な空想をほしいままにする必要はない。しかし、このような表現法が印象 を鮮明にすることの効果は、容易に承認されるであろう。

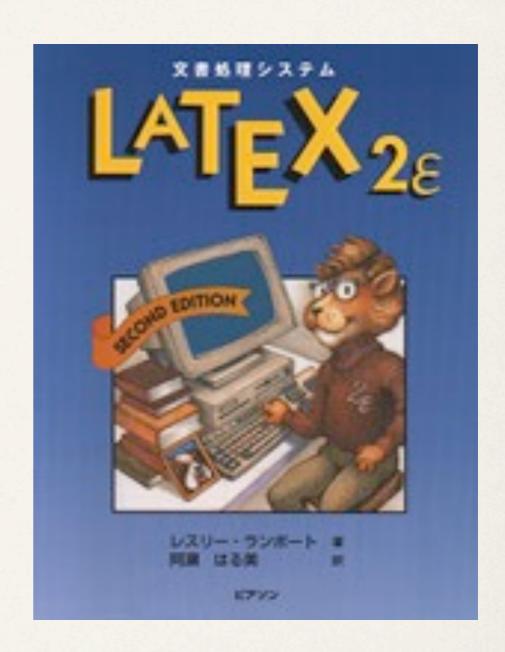
#### 2. 数の連続性

実数に関して前節で述べたことは、誰もが承認することと仮定したのであったが、数の連続 性は解析学の基礎であるから、それを説明しなければならない。

<sup>\*</sup> Max(a1, a2, ···, an) は a1, a2, ···, an の最大の値を表わす記号。同様に Min は最小の値を示す。

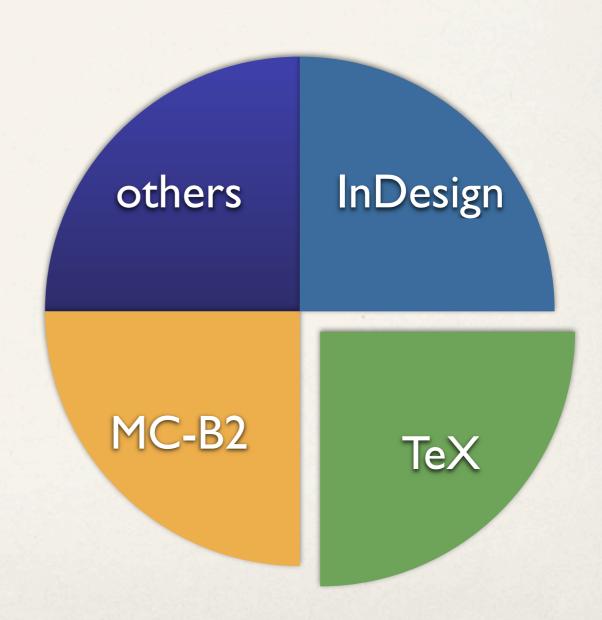
### General Publishers

- Iwanami Shoten
  - publishes some scientific books
  - typesets 20% of them using LaTeX.
- Pearson Kirihara K.K.
  - publishes some books on LaTeX and related topics
  - typesets almost of them using LaTeX.



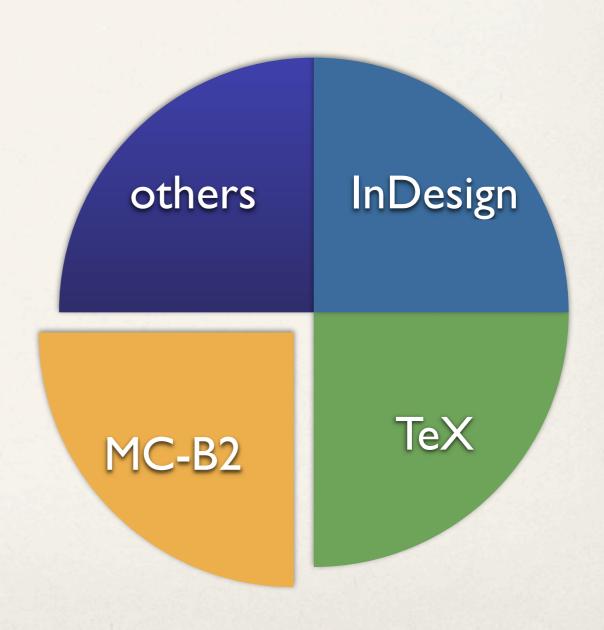
### Academic Publishers

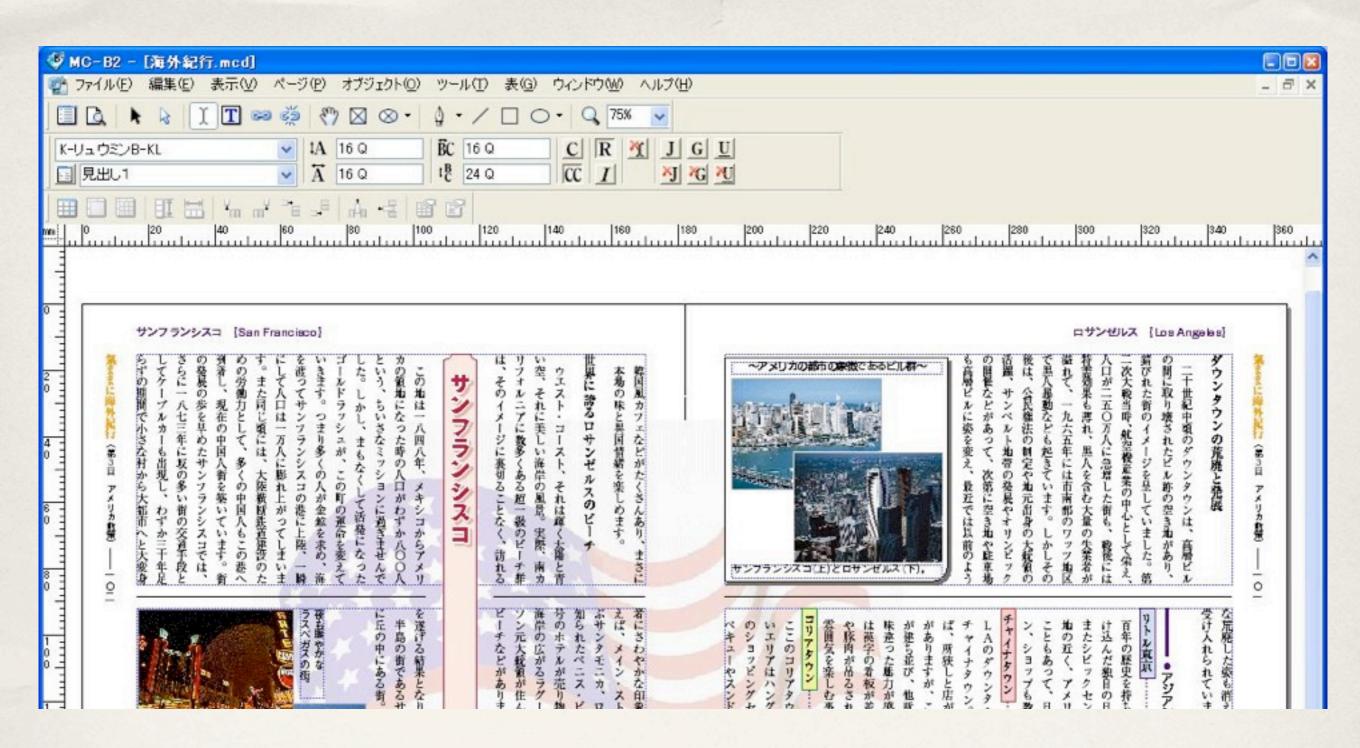
- Some of them
  - use LaTeX for half of scientific books
  - use Adobe InDesign for the other half.
- Universal Academy Press, Inc.
  - typesets most of journals and books using LaTeX.



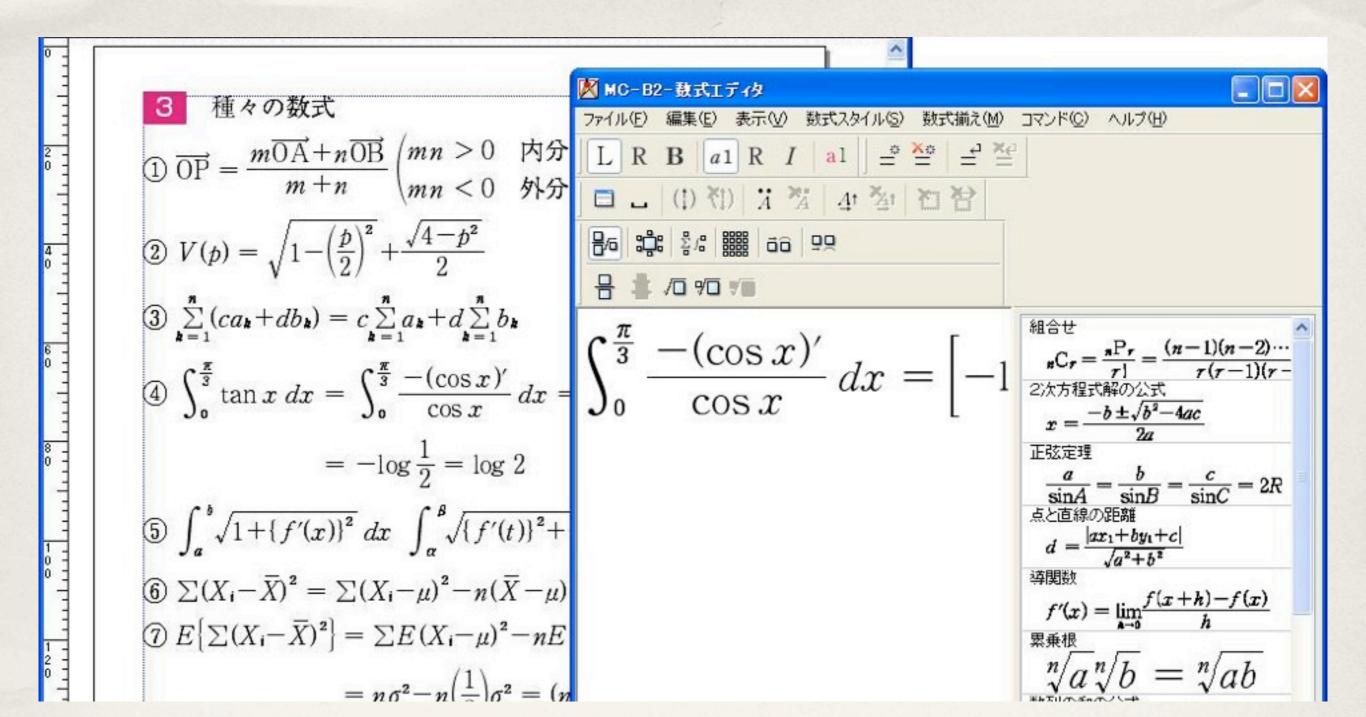
### Academic Publishers

- A long-established publisher
  - uses Morisawa MC-B2 for scientific books that contain many mathematical objects
  - uses Adobe InDesign for books that contain a few mathematical objects.

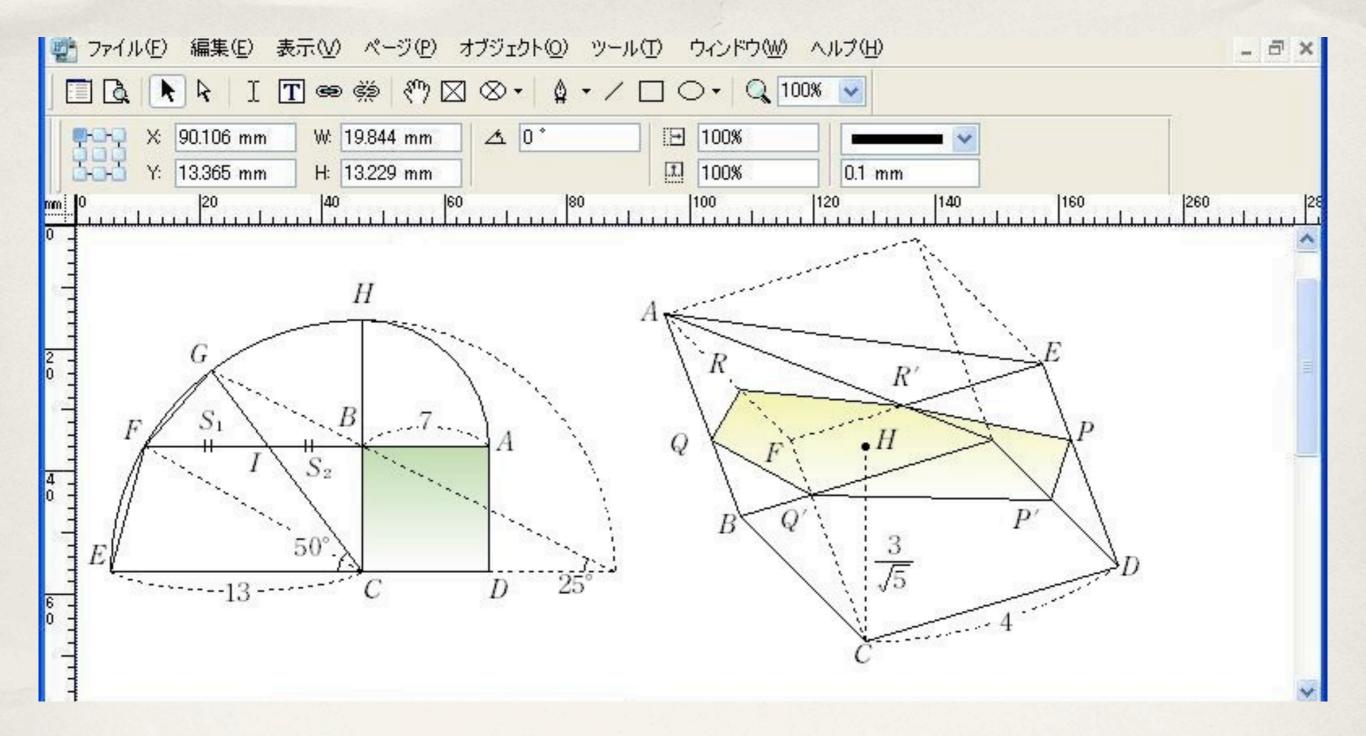




Editing a book



Editing a mathematical object



Drawing a figure

- High quality Japanese typesetting of a computerized typesetting system (CTS)
- High productivity, equipped with
  - a batch processing like TeX
  - a WYSIWYG interface.

2 09年度:数IA/本試〈解答>

$$\therefore |\overrightarrow{PR}| = \sqrt{\frac{9}{16}} = \frac{3}{4}$$

したがって、 $\angle QPR = \theta$ とすると

$$\cos \theta = \frac{\overrightarrow{PQ} \cdot \overrightarrow{PR}}{|\overrightarrow{PQ}| \cdot |\overrightarrow{PR}|} = \frac{\frac{5}{24}}{\frac{\sqrt{7}}{6} \cdot \frac{3}{4}} = \frac{5\sqrt{7}}{21}$$

#### [2]標準《2次関数》

復習 正弦・余弦・正接の加法定理

- (1)  $\sin(\alpha+\beta) = \sin\alpha\cos\beta + \cos\alpha\sin\beta$  $\sin(\alpha-\beta) = \sin\alpha\cos\beta - \cos\alpha\sin\beta$
- (2)  $\cos(\alpha+\beta) = \cos\alpha\cos\beta \sin\alpha\sin\beta$  $\cos(\alpha-\beta) = \cos\alpha\cos\beta + \sin\alpha\sin\beta$
- (3)  $\tan(\alpha+\beta) = \frac{\tan\alpha + \tan\beta}{1 \tan\alpha \tan\beta}$  $\tan(\alpha-\beta) = \frac{\tan\alpha - \tan\beta}{1 + \tan\alpha \tan\beta}$

2次関数  $y=x^2-4ax+4a^2-4a-3b+9$  を標準形にすると

$$y = (x-2a)^2-4a-3b+9$$

よって、この関数のグラフC は頂点の座標が

$$( \boxed{2} a, - \boxed{4} a - \boxed{3} b + \boxed{9} )$$

の放物線である。

(1) 2次方程式  $x^2-4ax+4a^2-4a-3b+9=0$  の 2 つの解を  $\alpha$ ,  $\alpha+2\sqrt{11}$  とおくと、解と係数の関係より  $\alpha+\alpha+2\sqrt{11}=4a$  ……①

$$\alpha(\alpha+2\sqrt{11})=4a^2-4a-3b+9$$
 .....(2)

①より これを②に代入すると

 $(2a-\sqrt{11})$ 

これを整理すると

変形して 3b=4(5-a)

3、4 は互いに素であるから、k を自然数と 3k=

a は自然数であるから k=1 であり、この a

(2) 直線  $x=\frac{a}{2}$ ,  $\ell_2$  および  $C_1$  で囲まれた図

$$S_1 = \frac{1}{2} \times \frac{a}{2} \times a - \int_0^{\frac{a}{2}} (-x^2 + \frac{a^2}{4} - \left[ -\frac{x^3}{3} + x^2 \right]_0^{\frac{a}{2}} = \frac{a^2}{4}$$

(3) 放物線  $y = px^2 + qx + r$  が O(0, 0), P

①と $a \neq 0$ より、②、③はそれぞれ

これを解いて

$$p=\boxed{-2}$$
  $q(x)=-2x^2+(a+2)x$  とおくと、  $0\le x$   $q(x)-f(x)$  よって、 $C_1$  と  $C_2$  で囲まれた図形の面積  $S$ 

素関数 F(z) を定義し、F(z) の関数論的性質から f

の性質を導くことは、広く用いられ最も有力な方法 である。f から F(z) を作る方法としては、ベキ級 数  $\sum_{n=0}^{\infty} f(n)z^n$ 、ディリクレ級数  $\sum_{n=0}^{\infty} f(n)n^{-2}$  等が最

もよく使われる。いずれの場合にも関数の性質を数 論的関数の性質に戻す必要があるが、べキ級数の場 合は Cauchy の積分定数、ディリクレ級数の場合は Perron の公式<sup>†</sup>がしばしばその目的で使われる。

代表的な数論的関数の生成関数をあげる。すべての自然数で 1 をとる関数  $\sigma$  の生成関数は Riemannのゼータ関数  $^{\dagger}$ である。 $\mu(n)$ , d(n),  $\sigma(n)$ ,  $\varphi(n)$ , i(n) (任意のnに対しi(n)=n) の生成関数をディリクレ級数で作ると,それぞれ $\xi(z)^{-1}$ ,  $\xi^2(z)$ ,  $\xi(z)\xi(z-1)$ ,  $\xi(z-1)\xi(z)^{-1}$ ,  $\xi(z-1)$ になる。これら数論的関数の詳しい性質は,生成関数の性質から導かれる (一314 ディリクレ級数,227ゼータ関数).

分割数 $^{\dagger}p(n)$ はベキ級数が使われる代表的な例である。 |z| < 1で

$$F(z) = \prod_{m=1}^{\infty} (1-z^m)^{-1} = 1 + \sum_{n=1}^{\infty} p(n)z^n$$

が成立するので、F(z) が p(n) の生成関数である。Hardy と S. Ramanujan は Cauchy の積分公式  $p(n) = (2\pi i)^{-1} \int_c F(z) z^{-n-1} dz$  (C は原点中心で半径 が1より小さい円) の右辺を巧妙に計算することに より、 $p(n) \sim \frac{1}{4\sqrt{3}n} e^{z\sqrt{2n/3}}$  を導き、これが円周 法  $^{\dagger}$  の端緒となった。

自然数 h,k に対して  $s(h,k) = \sum_{m=1}^{k} \frac{m}{k} ((\frac{hm}{k}))$  とおき、 $W_{h,k} = \exp(\pi i \, s(h,k))$  とする。ただし  $\Sigma$  内の((t)) は t が整数でないときは t - [t] - 1/2([]]は Gauss の記号)、t が整数のときは 0 と約束する記号である。このとき、F(z) は次の変換公式(transformation formula)を満たす(Hardy - Ramanujan):

$$F\left(\exp\left(\frac{2\pi ih}{k} - \frac{2\pi z}{k}\right)\right) = W_{h,k}\sqrt{z}$$

$$\exp\left(-\frac{\pi}{k} - \frac{\pi z}{k}\right)F\left(\exp\left(\frac{2\pi ih'}{k} - \frac{2\pi}{k}\right)\right)$$

 $\mathcal{O}$   $\mathcal{L}$   $\varphi(x) = 0$ 

のよ φ(x) = H.A. それら F.石 とが多

が存る densi 呼ぶ.

- High quality Japanese typesetting of a computerized typesetting system (CTS)
- High productivity, equipped with
  - a batch processing like TeX
  - a WYSIWYG interface.

- 4 a - 3 b + 9

=0 の 2 つの解を  $\alpha$ ,  $\alpha+2\sqrt{11}$  とおくと, 解と係数の関係より  $\alpha + 2\sqrt{11} = 4a \quad \cdots (1)$ 

 $(1) = 4a^2 - 4a - 3b + 9 \cdots (2)$ 

206 モリサワ論的関数

素関数 F(z) を定義し、F(z) の関数論的性質から fの性質を導くことは, 広く用いられ最も有力な方法 である. f から F(z) を作る方法としては、ベキ級 数  $\sum_{n=1}^{\infty} f(n)z^n$ , ディリクレ級数  $\sum_{n=1}^{\infty} f(n)n^{-z}$  等が最

もよく使われる. いずれの場合にも関数の性質を数 論的関数の性質に戻す必要があるが、ベキ級数の場 合は Cauchy の積分定数、ディリクレ級数の場合は Perron の公式<sup>†</sup>がしばしばその目的で使われる.

代表的な数論的関数の生成関数をあげる. すべて の自然数で1をとる関数 σの生成関数は Riemann のゼータ関数<sup>†</sup>である.  $\mu(n)$ , d(n),  $\sigma(n)$ ,  $\varphi(n)$ , i(n)(任意 $O_n$  に対しi(n) = n) の生成関数をディリク レ級数で作ると、それぞれ $\zeta(z)^{-1}$ ,  $\zeta^{2}(z)$ ,  $\zeta(z)$  $\zeta(z-1)$ ,  $\zeta(z-1)\zeta(z)^{-1}$ ,  $\zeta(z-1)$ になる. これら数論的関数の 詳しい性質は、生成関数の性質から導かれる(一314 ディリクレ級数, 227ゼータ関数).

分割数 $^{\dagger}p(n)$ はベキ級数が使われる代表的な例で ある. |z|<1で

$$F(z) = \prod_{m=1}^{\infty} (1-z^m)^{-1} = 1 + \sum_{n=1}^{\infty} p(n)z^n$$

が成立するので、F(z) がp(n) の生成関数であ る. Hardy と S.Ramanujan は Cauchy の積分公式  $p(n) = (2\pi i)^{-1} \int_{\mathcal{L}} F(z) z^{-n-1} dz$  (C は原点中心で半径 が1より小さい円)の右辺を巧妙に計算することに より、 $p(n) \sim \frac{1}{4\sqrt{3}n} e^{\pi} \sqrt{2n/3}$  を導き、これが円周

自然数 h, k に対して  $s(h, k) = \sum_{k=1}^{k-1} \frac{m}{k} \left( \left( \frac{hm}{k} \right) \right)$  と おき、 $W_{h,k} = \exp(\pi i s(h,k))$  とする. ただし $\Sigma$ 内 O((t))は t が整数でないときは t-[t]-1/2([]]は Gauss の記号), tが整数のときは0と約束する記号 である. このとき, F(z) は次の変換公式(transformation formula)を満たす(Hardy - Ramanujan):

$$F\left(\exp\left(\frac{2\pi ih}{k} - \frac{2\pi z}{k}\right)\right) = W_{h,k}\sqrt{z}$$

$$\exp\left(\frac{\pi}{12kz} - \frac{\pi z}{12k}\right)F\left(\exp\left(\frac{2\pi ih'}{k} - \frac{2\pi}{kz}\right)\right).$$

ただし $(h, k) = 1, hh' \equiv -1 \pmod{k}$ である. 上記 の s(h, k)は Dedekind の和(Dedekind sum)と呼ば れ, つぎの相互法則 (reciprocity law for Dedekind sum)が成り立つ.

$$s(h, k) + s(k, h) = -\frac{1}{4} + \frac{1}{12} \left( \frac{h}{k} + \frac{k}{h} + \frac{1}{hk} \right)$$

Hardly-Ramanujan (1918) は F(z) の性質を調べ るために Dedekind の η 関数を考えるとよいこと を発見し、新しい研究の出発点を与えた. τを上半 複素平面を動く複素変数とするとき、 $\eta(\tau)$ は

$$\eta(\tau) = \exp\left(\frac{\pi i \tau}{12}\right) \prod_{n=1}^{\infty} (1 - \exp(2\pi i n \tau))$$

によって定義される関数であり、変換公式

$$\eta(\tau+1) = \exp(\frac{\pi i}{12})\eta(\tau), \quad \eta(-\frac{1}{\tau}) = \sqrt{\frac{\tau}{i}}\eta(\tau)$$

を満たす. ただし,  $\sqrt{\tau/i}$ は $\tau$ が虚軸の正の部分にあ るとき正の実数値をとる  $Im(\tau)>0$ で正則な関数を とるものとする.

したがってa, b, c, d が整数でad-bc=1なら,

$$\eta \left( \frac{ar+b}{cr+d} \right) = \varepsilon \sqrt{\frac{cr+d}{i}} \eta(\tau), \quad c > 0$$

となる. ここに  $\varepsilon$  は 1 のある 24 乗根で、その値は a, b, c, d から具体的に求めることができる数である. これらの結果から $\eta(\tau)$ は楕円モジュラー群<sup>†</sup> $\Gamma(1)$ に対する重さ1/2のモジュラー形式 † であることが

Romanujan は分割数 p(n) の間の合同式に注目  $p(11m+6) \equiv 0 \pmod{11}$  のような結果を得た. さら に彼は証明なしで

$$\sum_{m=0}^{\infty} p(5m+4)x^{m} = 5 \frac{\varphi(x^{5})^{5}}{\varphi(x)^{6}}$$

$$\sum_{m=0}^{\infty} p(5m+4)x^{m} = 5 \frac{\varphi(x^{5})^{5}}{\varphi(x)^{6}},$$
$$\sum_{m=0}^{\infty} p(7m+5)x^{m} = 7 \frac{\varphi(x^{7})^{3}}{\varphi(x)^{4}} + 49x \frac{\varphi(x^{7})^{7}}{\varphi(x)^{8}}$$

 $\varphi(x) = F(x)^{-1}$ である. これらは後に L.J. Mordell, H.A.Rademacher 等によって証明が与えられたが、 それらにはモジュラー関数†の理論が使われた.

一般的に数論的関数は非常に複雑な動きをするこ とが多く、確率論的な考え方も利用される. A を N の部分集合とするとき,

$$\lim_{x \to \infty} \frac{1}{x} \sum_{n \le x \ n \in A} 1 = d(A)$$

が存在するなら、この値を A の自然密度(natural density) あるいは漸近密度 (asymptotic density) と

$$\lim_{x\to\infty}\frac{1}{\log x}\sum_{n\leq x,n\in A}\frac{1}{n}=d'(A),$$

$$\lim_{\sigma \to 1+} \frac{1}{\zeta(\sigma)} \sum_{n \in A} n^{-\sigma} = d''(A)$$

が存在するなら、これをそれぞれ A の対数密度 (logarithmic Density), Dirichlet の密度(Dirichlet Density) あるいは解析密度 (analytic Density) とい う. ここで ζ は Riemann のゼータ関数である. こ れらの密度の間には、d'とd''は存在までふくめて 同じ値をとること、 d'が存在しても d は存在するか どうか分からないが、 存在するなら値は同じになる こと, などが知られている.

fを数論的関数, g(x) を単調な実関数とする. 任意の整数εに対し、自然密度0の集合を除いて  $(1-\varepsilon)g(n) \le f(n) \le (1+\varepsilon)g(n)$ が成立するとき、fは正規の大きさ (normal order)g(x)を持つという.  $\omega(n)$  や  $\Omega(n)$  は正規の大きさとして loglog x を持 つことが知られている.

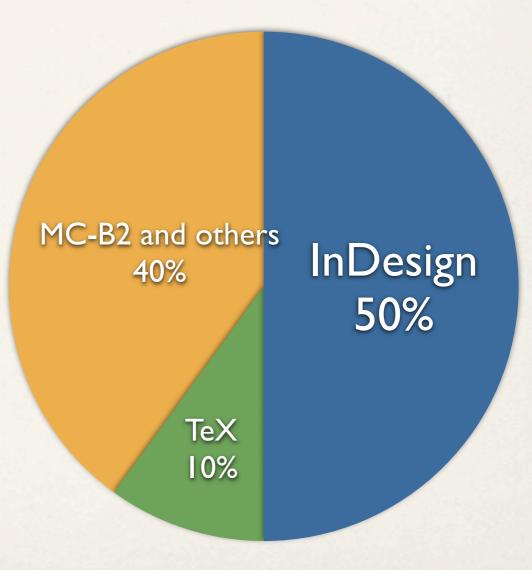
# Many companies install MC-B2 because ...

#### Morisawa Inc.

- one of the major Japanese font vendor,
- \* familiar with the internal affairs of the publishing world in Japan,
- quickly careful about supporting.

# Summary of Printing Companies

- They use Adobe InDesign for half of products.
- They produce various kinds of products e.g., textbooks, journals, and academic books
- TeX is used in limited ways
- Their TeX typeset products share is about 10%

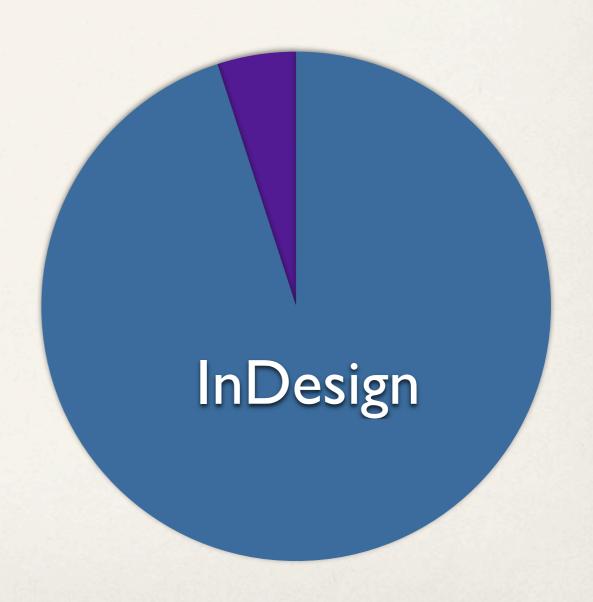


Cooperated From Livretech Co. Ltd., Nakanishi Printing Company, Sanbi Printing Co. Ltd., And Chuo Printing Co. Ltd.

# Production Companies (no summary)

I only recieved ONE answer :-(

- \* Top Studio Co., Ltd.
  - mainly produces computer books
  - uses Adobe InDesign for 90% products.



# Production Companies (I suppose that...)

- They use mostly Adobe InDesign for products
  - because they start to make a product after recieving an order from publishing/printing companies.
- There are some TeX production companies in Japan,
  - but as far as I know, such companies are few.

# Some Issues of Japanese TEX Publishing

# TeX is used in limited ways. Why?

- Fixed-Style and Glue-Style Line Spacing
- Page Layout Designing
- Development of Human Resources
  - The production cost in Japanese publishing
  - Japanese local TeX community

# Fixed-Style and Glue-Style Line Spacing

### Which side of these looks better?

Let  $f: [a, b] \to \mathbb{R}$  be a continuous function on the closed interval [a, b], and differentiable on the open interval (a, b), where a < b. Then there exists some c in (a, b) such that

$$f'(c) = \frac{f(b) - f(a)}{b - a}$$

The mean value theorem is a generalization of Rolle's theorem, which assumes f(a) = f(b), so that the right-hand side above is zero.

The mean value theorem is still valid in a slightly more general setting. One only needs to assume that  $f:[a,b] \to \mathbb{R}$  is continuous on [a,b], and that for every x in (a,b) the limit

$$\lim_{h \to 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h}$$

exists as a finite number or equals  $+\infty$  or  $-\infty$ . If finite, that limit equals f'(x). An example where this version of the theorem applies is given by the real-valued cube root function mapping x to  $x^{1/3}$ , whose derivative tends to infinity at the origin.

Note that the theorem, as stated, is false if a differentiable function is complex-valued instead of real-valued. For example, define  $f(x) = e^{ix}$  for all real x. Then

$$f(2\pi)f(0) = 0 = 0(2\pi0)$$

while |f'(x)| = 1.

Let  $f: [a, b] \to \mathbb{R}$  be a continuous function on the closed interval [a, b], and differentiable on the open interval (a, b), where a < b. Then there exists some c in (a, b) such that

$$f'(c) = \frac{f(b) - f(a)}{b - a}$$

The mean value theorem is a generalization of Rolle's theorem, which assumes f(a) = f(b), so that the right-hand side above is zero.

The mean value theorem is still valid in a slightly more general setting. One only needs to assume that  $f:[a,b] \to \mathbb{R}$  is continuous on [a,b], and that for every x in (a,b) the limit

$$\lim_{h \to 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h}$$

exists as a finite number or equals  $+\infty$  or  $-\infty$ . If finite, that limit equals f'(x). An example where this version of the theorem applies is given by the real-valued cube root function mapping x to  $x^{1/3}$ , whose derivative tends to infinity at the origin.

Note that the theorem, as stated, is false if a differentiable function is complex-valued instead of real-valued. For example, define  $f(x) = e^{ix}$  for all real x. Then

$$f(2\pi)f(0) = 0 = 0(2\pi0)$$

while |f'(x)| = 1.

Let  $f:[a,b] \to \mathbb{R}$  be a continuous function on the closed interval [a,b], and differentiable on the open interval (a,b), where a < b. Then there exists some c in (a,b) such that

$$f'(c) = \frac{f(b) - f(a)}{b - a}$$

The mean value theorem is a generalization of Rolle's theorem, which assumes f(a) = f(b), so that the right-hand side above is zero.

The mean value theorem is still valid in a slightly more general setting. One only needs to assume that  $f:[a,b] \to \mathbb{R}$  is continuous on [a,b], and that for every x in (a,b) the limit

$$\lim_{h \to 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h}$$

exists as a finite number or equals  $+\infty$  or  $-\infty$ . If finite, that limit equals f'(x). An example where this version of the theorem applies is given by the real-valued cube root function mapping x to  $x^{1/3}$ , whose derivative tends to infinity at the origin.

Note that the theorem, as stated, is false if a differentiable function is complex-valued instead of real-valued. For example, define  $f(x) = e^{ix}$  for all real x. Then

$$f(2\pi)f(0) = 0 = 0(2\pi0)$$

Let  $f:[a,b] \to \mathbb{R}$  be a continuous function on the closed interval [a,b], and differentiable on the open interval (a,b), where a < b. Then there exists some c in (a,b) such that

$$f'(c) = \frac{f(b) - f(a)}{b - a}$$

The mean value theorem is a generalization of Rolle's theorem, which assumes f(a) = f(b), so that the right-hand side above is zero.

The mean value theorem is still valid in a slightly more general setting. One only needs to assume that  $f:[a,b] \to \mathbb{R}$  is continuous on [a,b], and that for every x in (a,b) the limit

$$\lim_{h \to 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h}$$

exists as a finite number or equals  $+\infty$  or  $-\infty$ . If finite, that limit equals f'(x). An example where this version of the theorem applies is given by the real-valued cube root function mapping x to  $x^{1/3}$ , whose derivative tends to infinity at the origin.

Note that the theorem, as stated, is false if a differentiable function is complex-valued instead of real-valued. For example, define  $f(x) = e^{ix}$  for all real x. Then **Right side** 

$$f(2\pi)f(0) = 0 = 0(2\pi0)$$

### Which side of these looks better?

Let  $f: [a, b] \to \mathbb{R}$  be a continuous function on the closed interval [a, b], and differentiable on the open interval (a, b), where a < b. Then there exists some c in (a, b) such that

$$f'(c) = \frac{f(b) - f(a)}{b - a}$$

The mean value theorem is a generalization of Rolle's theorem, which assumes f(a) = f(b), so that the right-hand side above is zero.

The mean value theorem is still valid in a slightly more general setting. One only needs to assume that  $f:[a,b] \to \mathbb{R}$  is continuous on [a,b], and that for every x in (a,b) the limit

$$\lim_{h \to 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h}$$

exists as a finite number or equals  $+\infty$  or  $-\infty$ . If finite, that limit equals f'(x). An example where this version of the theorem applies is given by the real-valued cube root function mapping x to  $x^{1/3}$ , whose derivative tends to infinity at the origin.

Note that the theorem, as stated, is false if a differentiable function is complex-valued instead of real-valued. For example, define  $f(x) = e^{ix}$  for all real x. Then

$$f(2\pi)f(0) = 0 = 0(2\pi0)$$

while |f'(x)| = 1.

Let  $f: [a, b] \to \mathbb{R}$  be a continuous function on the closed interval [a, b], and differentiable on the open interval (a, b), where a < b. Then there exists some c in (a, b) such that

$$f'(c) = \frac{f(b) - f(a)}{b - a}$$

The mean value theorem is a generalization of Rolle's theorem, which assumes f(a) = f(b), so that the right-hand side above is zero.

The mean value theorem is still valid in a slightly more general setting. One only needs to assume that  $f:[a,b] \to \mathbb{R}$  is continuous on [a,b], and that for every x in (a,b) the limit

$$\lim_{h \to 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h}$$

exists as a finite number or equals  $+\infty$  or  $-\infty$ . If finite, that limit equals f'(x). An example where this version of the theorem applies is given by the real-valued cube root function mapping x to  $x^{1/3}$ , whose derivative tends to infinity at the origin.

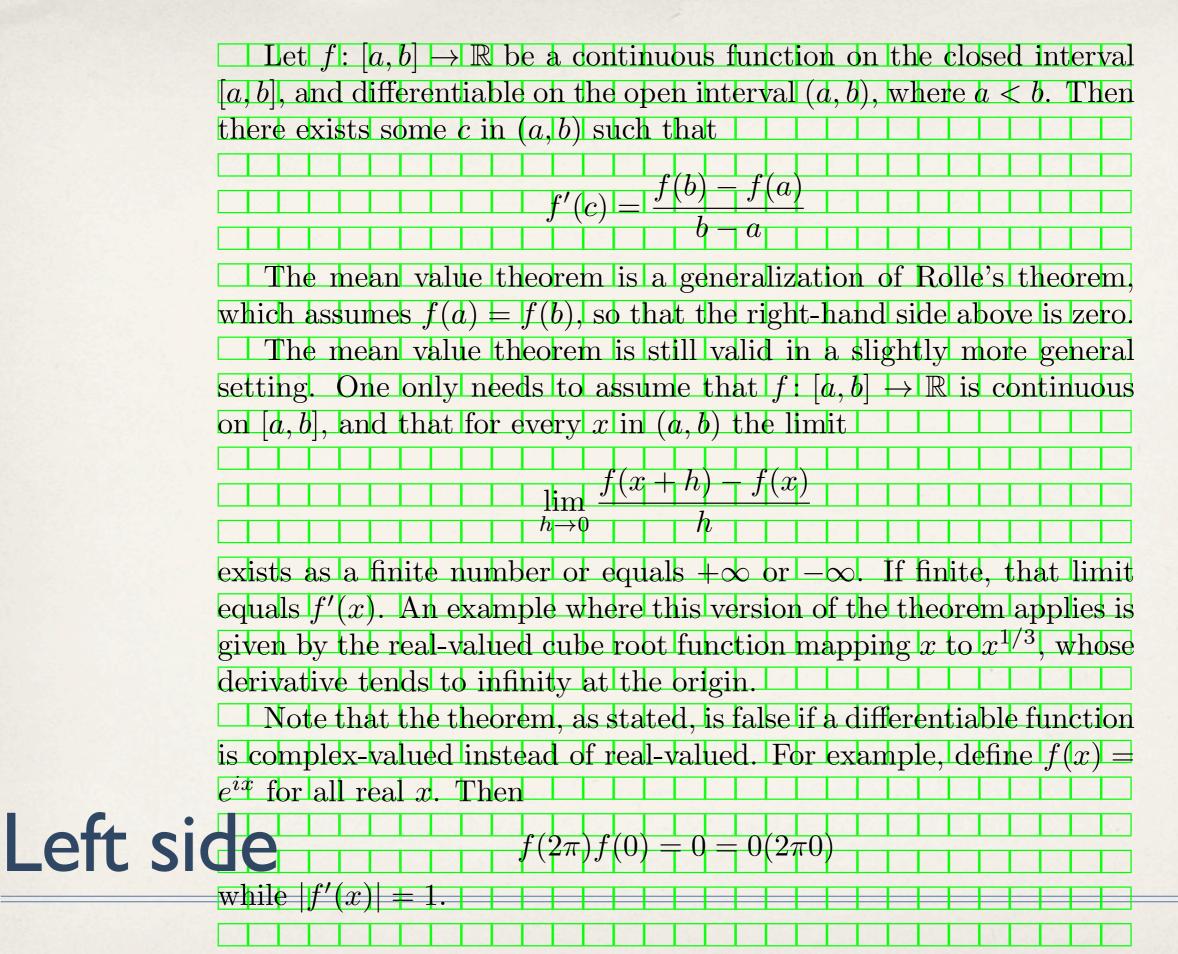
Note that the theorem, as stated, is false if a differentiable function is complex-valued instead of real-valued. For example, define  $f(x) = e^{ix}$  for all real x. Then

$$f(2\pi)f(0) = 0 = 0(2\pi0)$$

while |f'(x)| = 1.

## Which side of these looks better?

Let $f: [a,b] \to \mathbb{R}$ be a dontinuous function on the closed interval	Let $f: [a,b] \mapsto \mathbb{R}$ be a continuous function on the closed interval
[a, b], and differentiable on the open interval $(a, b)$ , where $a < b$ . Then	[a, b], and differentiable on the open interval $(a, b)$ , where $a < b$ . The
there exists some $c$ in $(a,b)$ such that	there exists some $c$ in $(a,b)$ such that
f'(c) = f(b) - f(a)	$f'(c) = \frac{f(b) - f(a)}{a}$
	$b \rightarrow a$
The mean value theorem is a generalization of Rolle's theorem,	The mean value theorem is a generalization of Rolle's theorem
which assumes $f(a) = f(b)$ , so that the right-hand side above is zero.	which assumes $f(a) = f(b)$ , so that the right-hand side above is zero
The mean value theorem is still valid in a slightly more general	The mean value theorem is still valid in a slightly more general
setting. One only needs to assume that $f:[a,b] \to \mathbb{R}$ is continuous	
on $[a, b]$ , and that for every $x$ in $(a, b)$ the limit	
	on $[a,b]$ , and that for every $x$ in $(a,b)$ the limit
$\lim_{x \to \infty} \frac{f_1(x+h) - f_1(x)}{h}$	f(x+h) + f(x)
$h \rightarrow 0$ $h$	$\lim_{h \to 0} \frac{f(w + h) - f(w)}{h}$
exists as a finite number or equals $+\infty$ or $-\infty$ . If finite, that limit	
equals $f'(x)$ . An example where this version of the theorem applies is	exists as a finite number or equals $+\infty$ or $-\infty$ . If finite, that $\lim_{x\to x} \frac{1}{x} = \frac{1}{x} = \frac{1}{x}$
given by the real-valued cube root function mapping $x$ to $x^{1/3}$ , whose	equals $f'(x)$ . An example where this version of the theorem applies
derivative tends to infinity at the origin.	given by the real-valued cube root function mapping $x$ to $x^{1/3}$ , whose
Note that the theorem, as stated, is false if a differentiable function	derivative tends to infinity at the origin.
is complex-valued instead of real-valued. For example, define $f(x) =$	Note that the theorem, as stated, is false if a differentiable function
eix for all real x. Then	is complex-valued instead of real-valued. For example, define $ f(x) $
	$e^{ix}$ for all real $x$ . Then
$f(2\pi)f(0) = 0 = 0(2\pi0)$	
while $ f'(x)  \neq 1$ .	$f(2\pi)f(0) = 0 = 0(2\pi 0)$
	while $ f'(x)  = 1$ .



Let  $f:[a,b] \to \mathbb{R}$  be a continuous function on the closed interval [a, b], and differentiable on the open interval (a, b), where a < b. Then there exists some c in (a, b) such that f(b) $\neg f(a)$ The mean value theorem is a generalization of Rolle's theorem. which assumes f(a) = f(b), so that the right-hand side above is zero. The mean value theorem is still valid in a slightly more general One only needs to assume that  $f:[a,b] \to \mathbb{R}$  is continuous setting. on [a,b], and that for every x in (a,b) the limit exists as a finite number or equals  $+\infty$  or  $-\infty$ . If finite, that limit equals f'(x). An example where this version of the theorem applies is given by the real-valued cube root function mapping x to  $x^{1/3}$ , whose derivative tends to infinity at the origin. Note that the theorem, as stated, is false if a differentiable function is complex-valued instead of real-valued. For example, define f(x) = $e^{ix}$  for all real x. Then ght side  $f(2\pi)f(0) = 0 = 0(2\pi0)$ 

### Which side of these looks better?

a < b とし、f(x) を閉区間 [a,b] で連続で、開区間 (a,b) で微分可能な関数とする。このとき開区間 (a,b) 上に、ある点 c が存在して

$$\frac{f(b) - f(a)}{b - a} = f'(c)$$

が成り立つ. これを微分に関するラグランジュの平均値の定理という. 左辺は、グラフにおいて (a,f(a)), (b,f(b)) を結ぶ線分(曲線の弦と呼ぶ)の傾き (=平均変化率)であるから,ラグランジュの平均値の定理は弦と平行な接線(=瞬間の変化率)を持つ点が a と b の間に存在するということがこの定理の主張である. つまり平均値の定理は存在型の定理である. またラグランジュの平均値の定理は b=a+h,  $c-a+\theta h$  とおくと,

$$f(a+h) = f(a) + hf'(a+\theta h) \quad (0 < \theta < 1)$$
 とも表せる.

a < b とし、f(x) を閉区間 [a,b] で連続で、開区間 (a,b) で微分可能な関数とする。このとき開区間 (a,b) 上に、ある点 c が存在して

$$\frac{f(b) - f(a)}{b - a} = f'(c)$$

が成り立つ. これを微分に関するラグランジュの平均値の定理という. 左辺は、グラフにおいて (a,f(a)), (b,f(b)) を結ぶ線分 (曲線の弦と呼ぶ) の傾き (=平均変化率) であるから, ラグランジュの平均値の定理は弦と平行な接線 (=瞬間の変化率) を持つ点が a と b の間に存在するということがこの定理の主張である. つまり平均値の定理は存在型の定理である. またラグランジュの平均値の定理は b=a+h,  $c-a+\theta h$  とおくと.

$$f(a+h) = f(a) + hf'(a+\theta h) \quad (0 < \theta < 1)$$

とも表せる。

a < b とし,f(x) を閉区間 [a,b] で連続で,開区間 (a,b) で微分可能な関数とする.このとき開区間 (a,b) 上に,ある点 c が存在して

$$\frac{f(b) - f(a)}{b - a} = f'(c)$$

が成り立つ. これを微分に関するラグランジュの平均値の定理という. 左辺は、グラフにおいて (a,f(a)),(b,f(b)) を結ぶ線分(曲線の弦と呼ぶ)の傾き (=平均変化率)であるから,ラグランジュの平均値の定理は弦と平行な接線(=瞬間の変化率)を持つ点が a と b の間に存在するということがこの定理の主張である. つまり平均値の定理は存在型の定理である. またラグランジュの平均値の定理は  $b=a+h,c-a+\theta h$  とおくと,

$$f(a+h) = f(a) + hf'(a+\theta h) \quad (0 < \theta < 1)$$

とも表せる.

### Left side

a < b とし、f(x) を閉区間 [a,b] で連続で、開区間 (a,b) で微分可能な関数とする。このとき開区間 (a,b) 上に、ある点 c が存在して

$$\frac{f(b) - f(a)}{b - a} = f'(c)$$

が成り立つ. これを微分に関するラグランジュの平均値の定理という. 左辺は、グラフにおいて (a,f(a)),(b,f(b)) を結ぶ線分(曲線の弦と呼ぶ)の傾き (=平均変化率)であるから,ラグランジュの平均値の定理は弦と平行な接線(=瞬間の変化率)を持つ点が a と b の間に存在するということがこの定理の主張である. つまり平均値の定理は存在型の定理である. またラグランジュの平均値の定理は  $b=a+h,c-a+\theta h$  とおくと,

$$f(a+h) = f(a) + hf'(a+\theta h) \quad (0 < \theta < 1)$$

とも表せる.

# Right side

### Which side of these looks better?

a < b とし、f(x) を閉区間 [a,b] で連続で、開区間 (a,b) で微分可能な関数とする。このとき開区間 (a,b) 上に、ある点 c が存在して

$$\frac{f(b) - f(a)}{b - a} = f'(c)$$

が成り立つ. これを微分に関するラグランジュの平均値の定理という. 左辺は、グラフにおいて (a,f(a)), (b,f(b)) を結ぶ線分(曲線の弦と呼ぶ)の傾き (=平均変化率)であるから,ラグランジュの平均値の定理は弦と平行な接線(=瞬間の変化率)を持つ点が a と b の間に存在するということがこの定理の主張である. つまり平均値の定理は存在型の定理である. またラグランジュの平均値の定理は b=a+h,  $c-a+\theta h$  とおくと,

$$f(a+h) = f(a) + hf'(a+\theta h) \quad (0 < \theta < 1)$$
 とも表せる.

a < b とし、f(x) を閉区間 [a,b] で連続で、開区間 (a,b) で微分可能な関数とする。このとき開区間 (a,b) 上に、ある点 c が存在して

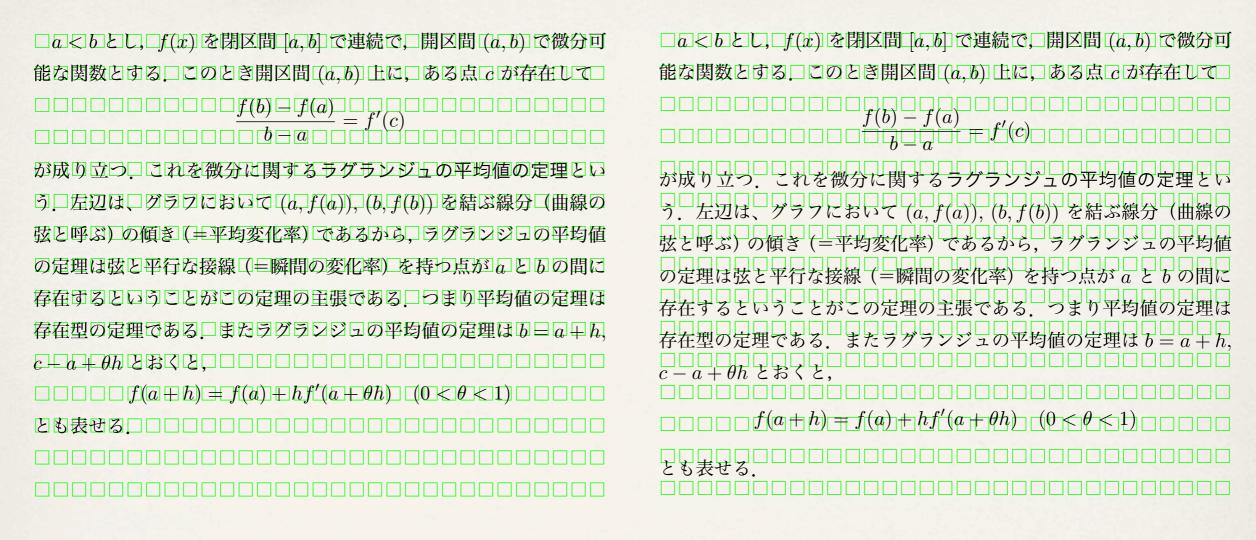
$$\frac{f(b) - f(a)}{b - a} = f'(c)$$

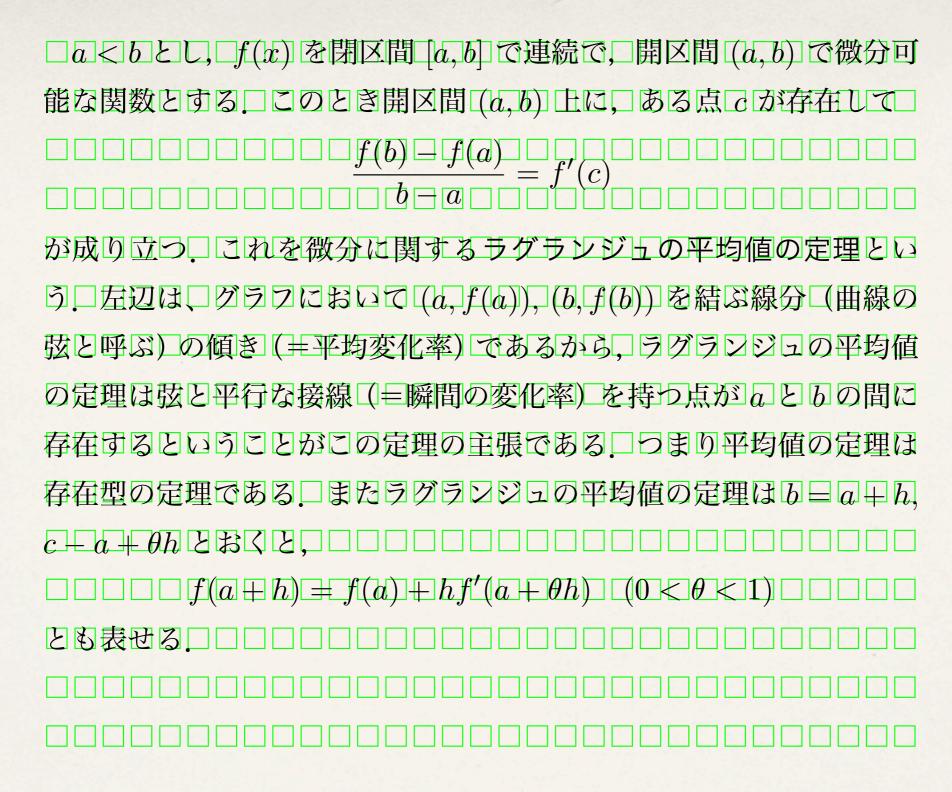
が成り立つ. これを微分に関するラグランジュの平均値の定理という. 左辺は、グラフにおいて (a,f(a)), (b,f(b)) を結ぶ線分 (曲線の弦と呼ぶ) の傾き (=平均変化率) であるから, ラグランジュの平均値の定理は弦と平行な接線 (=瞬間の変化率) を持つ点が a と b の間に存在するということがこの定理の主張である. つまり平均値の定理は存在型の定理である. またラグランジュの平均値の定理は b=a+h,  $c-a+\theta h$  とおくと.

$$f(a+h) = f(a) + hf'(a+\theta h) \quad (0 < \theta < 1)$$

とも表せる。

### Which side of these looks better?





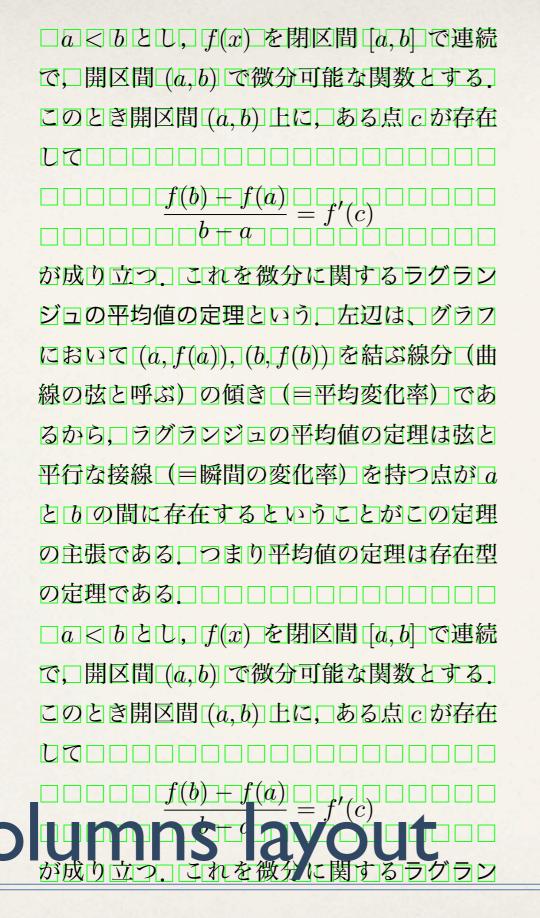
### Left side

```
能な関数とする」このとき開区間((a,b) 止に、ある点はの存在して
               (a, f(a)), (b, f(b))
      f(a+h) = f(a) + hf'(a+\theta h) \quad (0 < \theta < 1)
```

# Right side

# Fixed-Style and Glue-Style Line Spacing

- \* Some Japanese editors think ...
  - glue-style line spacing is not so good in Japanese publishing.
- \* When positioning mathematical objects, illustrations and so on,
  - they set these objects based on a number of lines in the text area.



この固有値は「5,10,10であるから、」定義よ り、スペクトル半径はp(A)=10である. 以下の表には、ベクトルのアークルムから誘 導された行列の作用素ノフレムおよびヒルベ Where Delua (Deserbalu ム)に関する山A性は他の、一般の増加に対す る値が列挙されている「この行列の場合には この固有値は「5、10、10」であるから、「定義は ウ,スペクトル半径はp(A)=10である. 以下の表には、「ベクトレルの」から誘 導された行列の作用素ノフレムおよびヒルベ 四)に関する II Ak II 1/2 の I の 増加に対す

# Fixed-Style and Glue-Style Line Spacing

- \* Some Japanese editors think ...
  - glue-style line spacing is not so good in Japanese publishing.
- \* When positioning mathematical objects, illustrations and so on,
  - they set these objects based on a number of lines in the text area.

# Page Layout Designing

LiveCDや仮想マシンなど して、ハードディスクにイントールすると自動的には、専用のパソコンを用 して、ハードディスクにイントール方法はとても簡単。ディクをドライブに入れてPCを起すると自動的にインストーラがいる。ここでは本誌付属のDだけだ。ここでは本誌付属のDに行が、ないたけだ。ここでは本誌付属のDに行った。ここでは本誌付属のDに行った。ここでは本誌付属のDに行った。ここでは本誌付属のDに行った。ここでは本誌付属のDに行った。ここでは本誌付属のDに行った。ここでは本誌付属のDに行った。ここでは本誌付属のDに行った。ここでは本誌付属のDに行います。





イ付ン録

Dから

◆DVDからパソコンを起動できるよう、BIOSの設定を確認、変更しよう。なおBIOSを変更しなくても起動時に特定のキーを押すと、今回限りのブートデバイスを選択できる機種もある。

### 付録DVDを使って Insta 今すぐチャレンジ!! nov

# Ubnutu 12.04



# A computer magazine in Japanese

using Adobe InDesign Creative Suite version 3







#### ユーザー名と パスワードの入力

ユーザーの名前と、パスワード を設定する。ここで作成するユー ザーは管理者権限でのコマンド実 行権を持つため、パスワードは英 数字や記号などをランダムに混ぜ た、十分に強固なものを設定しよ う。パスワードの評価も表示され るので参考にしよう。



インストールの完了

インストールは完了しました。新たにインターの再起動が必要です。

0





説している。

した空き領域部分にUbuctのパーティションを縮小し、Caれを選択すると、Windo

クの割に得られるメリッ

少な

わゆるデュアルブ

シンがおすすめだ。実機にインス両方のOSを同時に使える仮想マ

るなら、

W

表示さ

る。









↑画面がこの状態になったら、DVDを取り 出して[Enrer]キーを押そう。再起動すれば いよいよUbuntuが起動するぞ。

パーティションの調整

#### ↑これでUbuntuのインストール作業は完了 だ。「今すぐ再起動する」のボタンをクリック

#### Windowsとは別にインストール

Windows 7をUbuntuで置き換える 整合:これにより、Windows 7 上にあるプログラム、ドキュ 写真、音楽、その形のファイルはすべて開除されます。

終了(Q) 戻る(B) 続ける



それぞれのOSに割り当てる領域を調



**◆**起動時にGRUBブートローダのメニューが表 示され、起動するOSを選択できるようになる。 Windowsを起動したい場合は、メニュー最下 にある「Windows 7」を選択しよう。

# デュアル ロロ d

リサイズしてインストーパーティションを 1台のマシンでW

合は、左の手順で作業しよう。ない。だがどうしてもやりた のSTEP 6に「Ubunれているパソコンでは、前 ル」という選択肢が いため、本誌ではあまり -ndows 7とは別にインスト Windowsがイ には ンス 前 ペ | お勧め น を W

ルさ

い場

### الح الح الح する

# インストール

ンストールする全手順を、スクだけだ。ここでは本誌付属のDVだけだ。ここでは本誌付属のDVだけだ。ここでは本誌付属のDV 本的は、 動するようになっているので、基すると自動的にインストーラが起クをドライブに入れてPCを起動 ためには、専用のパソコンを用意ある。だが本来の性能を発揮する ールするのが一番だ。 ル方法はとても簡単。 質問に答えながら[続け る形態は色々 ク BIOSの設定を確認



**©** 

Ubuntu をインストール

←DVDからパソコンを起動でき るよう、BIOSの設定を確認、変 更しよう。なおBIOSを変更しな くても起動時に特定のキーを押す と、今回限りのブートデバイスを 選択できる機種もある。

3コーデッ. る」にチェッ

,ェックを入れると、トウェアをインストー

んをインストールでのような制限つな

また「サ

起動メニューの表示 ubuntu® インストールせずにUbuntuを試してみる(T)

### 付録DVDを使って





↑起動すると、画面下部にアイコンが 表示される。このまま何もしなければ STEP 4へ自動で進む。

#### theek Pomt

インストーラが起動する

•

Ubuntu を試す

#### Live DVDでの チェックポイント

でインストール」をクリッ予「日本語」を選択して

インストール前に Live DV Dで動作を確認しておこう。 ネットにつながるか、サウン ドが再生されるか、画面の解 像度が小さくないか、追加の ドライバが存在するかなどが チェックポイントだ。



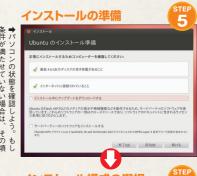
Windows がインストールさ れているマシンに、Ubuntu を共存させるかたちでインス トールすることもできる。た だし、作業前に Windows のバックアップだけは忘れず に取っておこう。

### 自動アップデー 一中に エデ

ンロードして、インストール後の ないセキュリティ修正などをダウ を入れると、DVDに含まれてい をダウンロードする」にチェック 「サードパーティー作業時間を短縮して き M の P 大り、リカバリプログラムが起動 トールでリカバリプログラムが起動 トールでリカバリ領域が消去され トールでリカバリ領域が消去され えているならば、仮想マシンやW的にWindowsのリカバリを考的にWindowsのリカバリを考ソコンをUbuntu専用として使 入直後のパソコ 「ードディスク内部にあの状態に戻す「リカバリコンの種類によっては、

領

# バックアップを取るリカバリ領域は





**Ubuntu Magazine Japan** 

# Page Layout Designing

- In Japan, we often can see books and magazines like such complicated page layout designing.
- If we realize that using TeX/LaTeX, we needs some skills of TeX programing.
- \* TeX beginners maybe feel hesitant to change a bit of page layout designing.

## Development of Human Resources

- The production cost in Japanese publishing
- Japanese local TeX community

# The production cost in Japanese publishing

The advantage using Adobe InDesign is as follows:

- supporting by Adobe Systems Inc.
- releasing useful add-ons by third party
- \* providing many books and training courses on Adobe Softwares

Consequently,
Japanese publishing companies limit the increase of
the production cost.

# The production cost in Japanese publishing

With Japanese TeX publishing conditions as Japanese publishing companies are now, they do everything on their own.

## Japanese local TeX community

- TeX Wiki (online)
- Japanese local TeX users group (1986–1994; dissolved)
- TeX Conference Japan (2009–)

- \* TeX Cafe (2012.07–)
  - one of my activities with TeX :-)

### TEX Wiki Tex Wiki

http://oku.edu.mie-u.ac.jp/~okumura/texwiki/

[<u>トップ</u>] [<u>編集 | 凍結 | 差分 | バックアップ | 添付 | リロード</u>] [<u>新規 | 一覧 | 単語検索 | 最終更新 | ヘルプ</u>]

#### リンク

- TeXについてのご 質問は新 <u>TeXフ</u> <u>オーラム</u> または 旧 <u>TeX Q & A</u> に どうぞ
- TeXを使ってみよう
- 新ドキュメントクラス
- Linux Wiki

#### 最新の10件

#### 2012-10-06

- Emacs
- ▶ <u>TeXworks/イン</u> ストール

#### 2012-10-05

- ▶ <u>Texmaker/設定/</u> Windows
- ・ インストール(Win dows)
- 秀丸エディタ

★ 2012年10月27日(土) TeX ユーザの集い 2012 <u>懇親会参加希望者は、申込フォームへ Go!</u> (~ 10/19).

#### 目次土

- ▶ 入門: TeX 入門 / TeX の本 (BibTeX 書式リスト)
- TeX ディストリビューション: TeX Live / W32TeX / MiKTeX / MacTeX
- インストール: MS Windows / Cygwin / OS X / Linux OS / FreeBSD / 本の附録 CD/DVD から → TeXWiki:TeXの本
- TeX/LaTeX 本体: TeX と「TeX 以外」/ TeX が苦手とする処理 / LaTeX コマンドの誤用例 / e-TeX / クラスファイル一覧
- Unicode 版 TeX: LuaTeX / XeTeX / upTeX,upLaTeX
- TeX のエラーメッセージ: TeX のエラー、LaTeX のエラー、LaTeX の警告
- パッケージ: OTF / hyperref / AMS-LaTeX / TikZ and PGF / PSTricks / xeCJK/ZXjatype / CJK LaTeX / pTeX と多言語処理 / pTeX と Babel / XyMTeX / OCHEM / 学会スタイル等
- DVIware: dvipdfmx / dvips / dvipng / dvisvgm / dviout / PictPrinter / pxdvi
- PDF Viewer: SumatraPDF / Skim / Evince / Okular / zathura / qpdfview / PdfViewer / MuPDF / Adobe Reader

### TeX Wiki

Presiding by OKUMURA Haruhiko; Actually a portal web site for Japanese TeX informations

# Japanese local TeX users group (1986–1994; dissolved)

- was in Japan Society for Software Science and Technology,
- had been active to implement Japanese TeX typesetting
- dissolved in 1994



# TeX Conference Japan 2009

was held around OKUMURA-san and KUROKI-san in 2009,



# TeX Conference Japan 2010

continued for three years



# TeX Conference Japan 2011

continued from 2009 three years

### TeXユーザの集い 2012

■日程 2012年10月27日(土)※終了後に懇親会を開催します

■場所 京都大学理学部 6 号館 401, 402 号室 (吉田キャンパス北部構内,京都市左京区北白川追分町;昨年までとは異なります)

■ 招待講演 1 時実 象一 氏(愛知大学):「学術情報流通の XML 化 - NLM DTD と JATS」

■招待講演 2 中西 秀彦 氏(中西印刷):「学術出版の技術変遷」



■口頭発表

▮ポスター発表

▮ショートショート「私の TeX 環境」

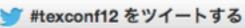
■懇親会 ……有料,参加には申込が必要です(~10月19日)

聴講だけであれば、無料で、事前申込の必要もありません。ただし、<u>懇親会申込フォーム</u>で、"懇親会に参加しない"として申込を済ませておくと、受付での記入の手間がなくなります。

■ 問合せ texconf12(at)googlegroups.com へメールでどうぞ

**▼ 実行委員会** ■参考: TeXユーザの集い 2009, 2010, 2011





ハッシュタグは #texconf12 です。

# TeX Conference Japan 2012

will be held on Oct. 27, 2012.

# My Hope

## I hope that ...

- We will develop TeX publishing more,
- We will gradually increase TeX typeset products in the near future.

How can we realize that?

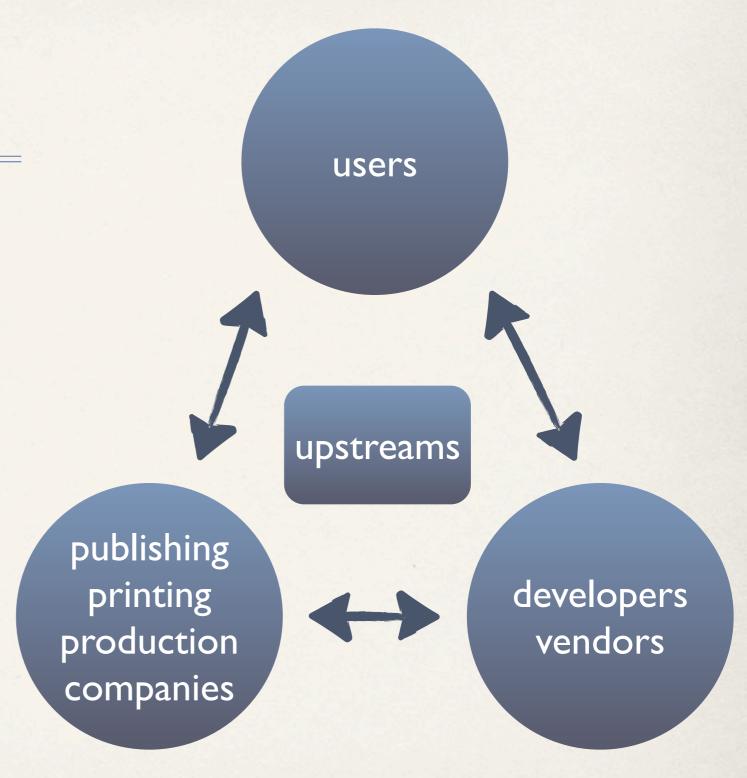
### That's the motto ...

# "TEX is OSS"

TEX is a collection of open source softwares

## "TEX is OSS"

- We share/discuss TeX each other
- We commit various interests and experiences to upstream communities.
- Each local people
  - should take an active part in offline meetings
  - should put out something there.



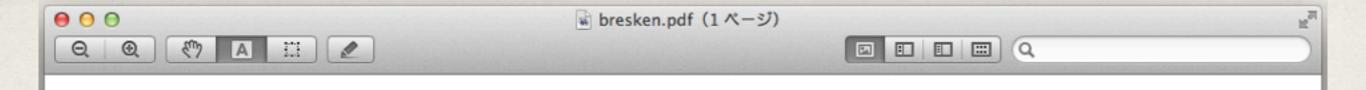
## What can we start to do soon?

```
000
                                                           bresken.tex
%#!pdflatex bresken
%#PREVIEW open -a Skim
\documentclass[landscape]{article}
\usepackage{iamjatex}% I'm just another TeXnician.
\begin{document}
\begin{iamjatex}
BBBBBBBBBb
               RRRRRRRR7r
                                            sX22222s
                                                       KKK
                                                                 1KK7
                                                                                NNN7n
                                                                                                       s1222Xss
                                                                kX7k
                                                                                                      s22s
       b77bb
               RRR
                      r777r
                                                   s7s K1K
                                                                                NNN77n
                                                                                                 NNN
BBB
                                           s22s
                                                                                                             s2ss
BBB
         177b
               RRR
                        122r
                                          sX2s
                                                       K1K
                                                               k77k
                                                                                NNN n7n
                                                                                                 NNN s22s
BBB
          277b RRR
                         122r EEEEEEEEEe22S
                                                       K1K
                                                              k2Xk
                                                                     EEEEEEEEENNN
                                                                                     n7n
                                                                                                 NNN S7S
         277b
                        r777r EEE
                                                       K1K k7Xk
                                                                                NNN
                                                                                      n7n
BBB
               RRR
                                           s22s
                                                                     EEE
                                                                                                 NNN s72s
BBB
        b21b
               RRR
                       rX7r
                               EEE
                                            s22s
                                                       K7Kkk77k
                                                                     FFF
                                                                                NNN
                                                                                                 NNN
                                                                                                       s2Xs
                                                                                       n2n
BBBBBBBbbb
               RRR222277r
                               EEE
                                                       K77777k
                                                                     EEE
                                                                                NNN
                                                                                                 NNN
                                                                                                         s21s
                                              s1Xs
                                                                                        n2n
               RRR22r
                               EEE
                                                       K7Kkk77k
BBB
        bX2b
                                                s22s
                                                                     EEE
                                                                                NNN
                                                                                         n7n
                                                                                                 NNN
                                                                                                           s7Xs
                               FFF
BBB
         B11b
               RRR
                    RRRr
                                                 s22s
                                                       KKK k22k
                                                                     FFF
                                                                                NNN
                                                                                          n2n
                                                                                                 NNN
                                                                                                            s22s
BBB
          B11b RRR
                       RRR
                               FEFFEEEEEEE
                                                  S2S
                                                       KKK
                                                              k22k
                                                                     EEEEEEEEENNN
                                                                                                NNN
                                                                                                             S2S
                                                                                            n2n
                                                 s22s
                                                       KKK
                                                              k22k EEE
BBB
         B11b
               RRR
                       RRRr
                               EEE
                                                                                NNN
                                                                                             nXn NNN
                                                                                                            s22s
                        RRRr EEE
BBB
       b22bb
               RRR
                                              s22s
                                                       KKK
                                                                k22k EEE
                                                                                NNN
                                                                                              nNNNNN sSs
                                                                                                           s22s
                                          sSs
               RRR
                           RRRrEEE
                                           sS2222Ss
                                                       KKK
                                                                 kKKkEEE
                                                                                NNN
BBBBBBBBBb
                                                                                               nNNNN sSSSSSss
                               EEE
                                                                     EEE
                               EEE
                                                                     EEE
                               EEEEEEEEE
                                                                     EEEEEEEEE
\end{iamjatex}
```

\end{lamjatex}
\end{document}

### The answer contains in this ASCII art.

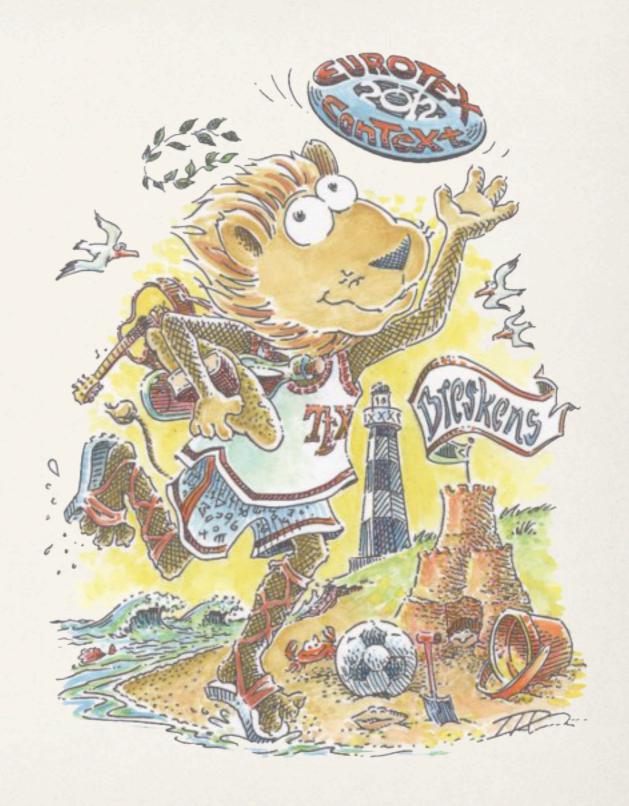
Now, to get the answer, let's typeset this document.



# HappyTeXing

# So, Happy TeXing!

Happy TeXing will change the world.



# Appendix

## I deeply appreciate their cooperation:

- \* Iwanami Shoten: http://www.iwanami.co.jp/
- \* Pearson Kirihara K.K.: <a href="http://www.pearsonkirihara.jp/">http://www.pearsonkirihara.jp/</a>
- Universal Academy Press, Inc.: <a href="http://www.uap.co.jp/">http://www.uap.co.jp/</a>
- Livretech Co., Ltd.: <a href="http://www.livretech.co.jp/">http://www.livretech.co.jp/</a>
- Nakanishi Printing Company: <a href="http://www.nacos.com/">http://www.nacos.com/</a>
- Sanbi Printing Co., Ltd.: <a href="http://www.sanbi.co.jp/">http://www.sanbi.co.jp/</a>
- \* Chuo Printing Co., Ltd.: <a href="http://www.chuo-print.com/">http://www.chuo-print.com/</a>
- \* Top Studio Co., Ltd.: <a href="http://www.topstudio.co.jp/">http://www.topstudio.co.jp/</a>
- \* and some anonymous answers

### References

- \* "An Introduction to Publishing in Japan 2012–2013", Japan Book Publishers Association: <a href="http://www.jbpa.or.jp/en/pdf/pdf01.pdf">http://www.jbpa.or.jp/en/pdf/pdf01.pdf</a>
- \* "Requirements for Japanese Text Layout", W3C Working Group Note: <a href="http://www.w3.org/TR/jlreq/">http://www.w3.org/TR/jlreq/</a>
- Morisawa MC-B2: <u>http://www.morisawa.co.jp/biz/products/mcb2/</u> (in Japanese)
- Ubuntu Magazine Japan, ASCII Media Works: <a href="http://ubuntu.asciimw.jp/">http://ubuntu.asciimw.jp/</a> (in Japanese)

### References

- \* TeX Conference Japan 2009–2012: <a href="http://oku.edu.mie-u.ac.jp/texconf09/">http://oku.edu.mie-u.ac.jp/texconf19/</a>
  <a href="http://oku.edu.mie-u.ac.jp/texconf10/">http://oku.edu.mie-u.ac.jp/texconf10/</a>
  <a href="http://oku.edu.mie-u.ac.jp/texconf11/">http://oku.edu.mie-u.ac.jp/texconf12/</a>
- \* munepi/iamjatex Github: <a href="https://github.com/munepi/iamjatex">https://github.com/munepi/iamjatex</a>